



福島市民憲章

市民すべての幸せと、ふるさと福島のはってん発展を願いながら、
市民一人ひとりが心をあわせ、「^{かいてき}快適で明るく住みよい
まちづくり」をすすめるためのよりどころとして、昭和
48年4月1日に制定されました。

- * 発展=力がのび広がり、さかんになること。
- * 快適=^{かいてき}ぐあいが良くて、とても気持ちが良いこと。



詳しくは
ホームページへ

▲「青々」撮影者：くもじい

ふくしま し じん けん しょう すい しん きょう ぎ かい
福島市民憲章推進協議会

福島市民憲章

* 前 文

わたくしたちは、みどりにつつまれた^{しのぶやま きよ}信夫山と清い
^{あぶくまがわ}流れの阿武隈川をもつ福島市民です。

福島市は、* ^{ち み ゆた}地味豊かなしのぶの里に古くから開け
た* ^{にんじょう}人情の美しいまちです。

わたくしたちは、平和で、さらに住みよく* ^{きぼう}希望に
ちたまちをつくるため、この市民憲章を* さだめます。

1. 空も水もきれいな

みどりのまちをつくりましょう。

1. 教育と文化を^{たつと}尊び

^{きぼう}希望に^{かがや}輝くまちをつくりましょう。

1. 親切で愛情あふれるまちをつくりましょう。

1. きまりを守り、力をあわせて

^{はたら}楽しく働けるまちをつくりましょう。

1. 子どもからおとしよりまで

安全で健康なまちをつくりましょう。

* 前文=前書き。

* 地味=作物をつくる土地の力。

* 人情=人としての思いやり、愛、なさけ。

* 希望にみちた=希望でいっぱい。

* さだめる=決めること。



▲「春、来たる」撮影者：くもじい

し みん けん しょう 市民憲章の意味

自然にめぐまれた、すばらしい*環境のなかで生活する福島市民であることを、あらためて心のなかにきざみつけること、ふるさとの^{れきし}歴史、文化を大切におもう心を育てていこうとすること、そして、一人ひとりが毎日、小さなところが^つけを^{かさ}積み重ねて、「明るく住みよいまち」をつくろうと^{どりよく}努力していくことを、*決意としてあらわすものです。

*環境=人や生き物をとりまく、まわりの世界。

*決意=決心、意思や考えをはっきり決めること。

市の木 ケヤキ



市民に親しまれ、公園や道路ぞいの木にも多く、緑ゆたかで、のびゆく福島をイメージさせる木です。

市の花 モモ



モモは、果物王国ふくしまの代表です。春にはたくさん*ぼんの花をさかせて、福島盆地をいろどります。

*盆地=山にかこまれた平地。

市の鳥 シジューカラ



福島の^{*}里山や林で身近にみられる、かわいらしい小鳥です。小鳥の森には、小鳥を観察しやすいネイチャーセンターがあります。

*里山=人が住んでいるところの近くにあって、人々の生活と結びついた山。

わたしたちの福島



位置：北緯37°45'39" 東経140°28'26"

^{かいぼつ}海拔：65.68m * 海拔=海水面を0mとした土地の高さ。

^{めんせき}面積：767.74 km²

人口：267,205人

男：129,709人 女：137,496人

0歳～14歳の人 29,097人

15歳～59歳の人 137,118人

60歳以上の人 100,990人 (年齢不詳者除く)

(2024年2月末日現在)

小学校の数：45校

中学校の数：23校

特別支援学校等：5校

身近な山：^{しのぶやま}信夫山・^{べんてんやま}弁天山・^{じょうやま}城山・^{あづまやま}吾妻山・^{せんがんもり}千貫森

身近な川：^{あぶくまがわ}阿武隈川・^{あらかわ}荒川・^{すりかみがわ}摺上川・^{まつかわ}松川

福島で
つくられている
くだもの
おもな果物





▲「大好きな桃を自分で」 撮影者：さくもも

空も水も きれいなみどりの まちをつくりましょう



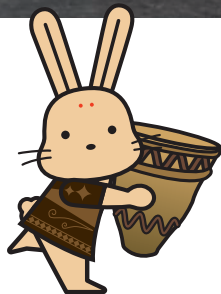
- 家のまわりや道路、公園、川などをごみのないきれいな
かんきょう
環境にしましょう。
- 自然を大切にしましょう。
- ごみを正しく分けて、*資源しげんを大切にしましょう。

*資源=いろいろな物を作り出すもとになる物。



▲「わらじ音頭でワッショイ」 撮影者：涌井弘亘

教育と文化を^{* たつと}尊び
希望に^{きぼう}輝く^{かがや}
まちをつくりましょう



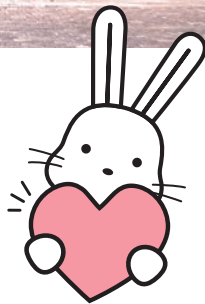
- ふるさと福島^{れきし}の歴史や文化^{ぶんか}を知り、大切にしましょう。
- 音楽や美術などに親しんで、心を豊かにしましょう。
- 科学などにきょうみ^{くふう}を持ち、生活の中で発明工夫^{くふう}をしてみましょう。

* 尊び=うやまって、大切にすること。



▲「公園散歩」撮影者：涌井弘巨

親切で 愛情あふれる まちをつくりましょう



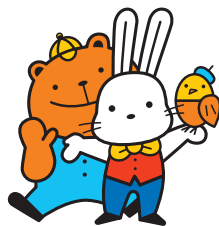
- 子どもやおとしよりをいたわり、親切にしましょう。
- だれにでもできる親切を自分からすすんで実行しましょう。
- ひとにはいつも明るく、やさしいたいどで*接しましょう。

*接する=ふれること。たいおうすること。



▲「あさ通勤時・・・あづま橋のたもとより吾妻連峰を望む」撮影者：斎藤伸一

きまりを守り、 力をあわせて楽しく働ける まちをつくりましょう



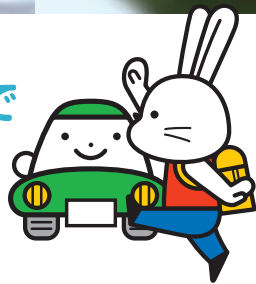
- 友だちや、近所の人となかよくたすけあいましょう。
- どんな場所でもきまりを守り、人に^{めいわく}*迷惑をかけないようにしましょう。

*迷惑=いやな目にあうこと。



▲「自然な笑顔と自然の笑顔」撮影者：Haryu

子どもからおとしよりまで 安全で健康な まちをつくりましょう



- 交通ルールを守り、事故にあわないように気をつけましょう。
- 危険なところでは、遊ばないようにしましょう。
- 毎日の生活にスポーツや*レクリエーションを取り入れて、健康な心と体をつくりましょう。

*レクリエーション=つかれを、休みや楽しみでとること。

かんきょう 環境と関わりのある施設
しせつ



▲あぶくまクリーンセンター

きょういくとぶんか 教育と文化に
かんわり 関わりのある施設
しせつ



▲こむこむ館

けんこう・こくうでスポーツ 健康・子育て・スポーツ
あんぜん 安全に関わりのある施設
しせつ



▲保健福祉センター

あぶくまクリーンセンター

市民の家から出たもえるごみを集めてきて、24時間休みなくもやしています。

となりのヘルシーランド福島には、ごみをもやしたときに出る熱を利用した温水プールやお風呂があります。



▲四季の里小水力発電設備

こむこむ館

福島市子どもの夢を育む施設
「こむこむ」は楽しいなかで
まなぶ教育文化複合施設です。
さまざまなワークショップやイベントを開催したり、プラネタリウム、子どもライブラリーなどがあります。



▲渡利学習センター

保健福祉センター

赤ちゃんからおとしよりまで市民の一生にわたる健康づくりをすすめる施設です。

乳幼児健診をしたり、子育てや健康についての相談を受けたりします。

福島市保健所・休日救急歯科診療所もあります。



▲NCVふくしまアリーナ（福島市体育館・武道場）



▲福島消防署清水分署

四季の里小水力発電設備

四季の里園内を流れている農業用水を利用して、水車を回転させ電気をつくっています。水車小屋内には展示コーナーもあり、小水力発電について学ぶことができます。



▲ 摺上川ダム

学習センター

市内には16の学習センターがあります。ここでは、地域の方々が講師の先生と一っしょに勉強したり、同じ趣味を持った人たちが仲良く活動したりします。図書室や調理実習室、多目的ホールなどがあります。



▲ 古関裕而記念館

NCVふくしまアリーナ（福島市体育館・武道場）

子どもからおとしよりまで、障がいのある方もない方も気軽にスポーツを楽しめる施設です。屋内球技のほか、剣道、柔道、弓道などを行うことができます。

消防署

火事が起きたときの消火と病気やケガをした人を病院へ運ぶ救急などの仕事をしています。24時間365日、市民の安心・安全を守っています。

摺上川ダム

ごうすい ひがい ていげん
洪水被害の低減、農業用水や水道用水への利用などのために、国が摺上川ダムを建設しました。

ダムは、自然豊かな山々がはぐくむ清流「摺上川」を水源としています。このきれいな水を原水とした安全で良質な水道水を、市内のほぼ全域にお届けしています。

古関裕而記念館

めいよ
福島市名誉市民で、日本を代表する作曲家の古関裕和さんに関する資料が展示されています。夏の高校野球大会の歌「栄冠は君に輝く」も古関さんの作曲です。また、市内の小学校や中学校の校歌も数多く作曲しました。

じょーもびあ宮畑

約4,500年前から約2,000年間、縄文時代の人々が暮らした遺跡である国史跡「宮畑遺跡」を整



▲ じょーもびあ宮畑

備した公園です。園内には、復元した掘立柱建物や堅穴住居、体験学習施設「じよいもん」などがあり、弓矢や勾玉作りなどの縄文体験や見学ができます。

福島市歌

♩♩
朗らかにカブよく
M.M. ♩ = 108

北原白秋 作詞
山田耕筈 作曲



- 1 リょうぜん くも たか
霊山の雲は高く
あさかげ
かがやく 朝光
せいせい きうん
生々の気運ここに
いんしんいま きお
殷賑今ぞ勢う
とうほく かんもん わが とし
東北の関門 若きわが都市
はえ
栄あれ福島我等開かん

- 3 あおぞら した ひろ
靑空の下は広く
ふえたりこの土
るいいるい かじつ えだ
頼々の果実枝に
そうてん かす
桑田いよよ霞む
とうほく かんもん わが とし
東北の関門 若きわが都市
はえ
栄あれ福島我等仕えん

- 2 あぶくま みず きよ
阿武隈の水は清く
おさらぎ
のちあり大仏
みやくみやく つと
脈々のまこと夙に
さんぎようきそ ふる
産業競い振う
とうほく かんもん わが とし
東北の関門 若きわが都市
はえ
栄あれ福島我等興らん

